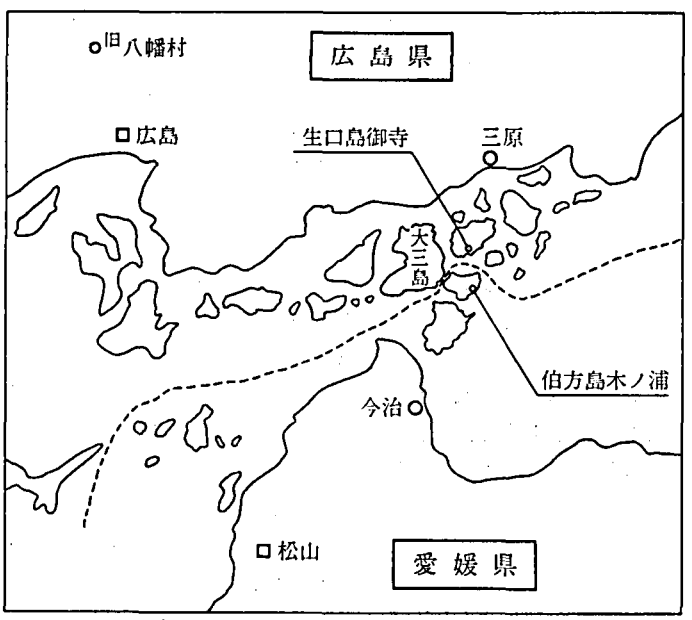
認められる傾向が，どの程度の一般性と特色とを持つかが，明らかになるであろう。

Ⅱ　生口島御寺（ミテラ）方言の語アクセント

町　　博光

はじめに

今回の生口島共同調査で，筆者は，島の南側に位置する御寺集落（戸数 185，人口 702）の語アクセントの体系的調査を行った。当地は，眼前に愛媛県伯方島を望む。生口島と伯方島との間には，広島県と愛媛県との県境に沿って，中国系と四国系とのアクセント境界線も引かれている。（たとえば，藤原与一氏「瀬戸内海島嶼のアクセント」，『方言』5の8，昭和10年8月，など参照。）本稿では，御寺方言の語アクセント資料を示すとともに，伯方島方言および広島県山県郡八幡村方言のアクセントとの比較も試みることにする。このことによって，御寺方言語アクセントの実態・特色・推移の方向，また，伯方島と生口島との間にアクセント境界線を引くことの妥当性，などの問題を解明することができると考える。



（破線は藤原氏の示されたアクセント境界線）

一　御寺方言の語アクセント体系

（一）名詞アクセント

1.　一音節名詞のアクセント

一音節名詞には○▷と○▷の2型が認められる。注目すべきことは，第二類の「名・葉・日」が，いずれも頭高型を示していることである。第二類のうち，少女では，「藻」も「モガ」と頭高型に実現している。

2. 二音節名詞のアクセント

二音節名詞では，平板型が第一・二・三類に，頭高型が第四・五類に認められる。第一類は，少女に，「桐」が頭高型で実現している以外は，すべて平板型である。第二類のうち頭高型を示しているのは「弦・冬」の2語，第三類では「貝・鯛」の2語である。「雲・靴」の2語は，少年層でのみ頭高型として実現している。第四類では「糸・下駄・糟」が平板型を示している。四類の「鎌・上・鑿」も，少年層でのみ平板型となっている。第五類はすべて平板型である。

付属語「が」を付けたアクセントは，第一類○○▷，第二・第三類○○▷，第四・五類が○○▷となる。なお，少女において，第四・五類の付属語を付けた場合のアクセントが，ほとんど例外なしに○○▷と実現していることは注目されるべき事実である。

3. 三音節名詞のアクセント

三音節名詞には，次の3種のアクセントが認められる。すなわち平板型・中高型・頭高型である。平板型をとるのは第一・二・四・六・七類の語である。中高型は第三類が示す。頭高型は第五・七類に認められる。第七類の9語のうち，「後・盃・兜・鯨・病」が頭高型となり，「苺・薬・盥」が平板型，「便」が中高型となっている。第一類と六類の平板型，第五類の頭高型にゆれの少いのが注目される。三音節名詞のうち，高平型が実現しているのは，「間・舅・女（老年層）・氷（老年層）・扇（少年層）」の5語に過ぎない。

付属語の付いたアクセントは複雑である。第一・六・七類のうち平板型を示す語は全年層で○○○▷となり，第四類のうち平板型を示す語は全年層で○○○▷となる。第二類は，老男では，語例は「夕」（「ユーベ」）を除いた残り全例が平板型○○○であり，これに「が」が付けば全例○○○▷となる。これに対し，老女・少年層では，語例が老女で「夕」（「ユーベ」）の1例以外すべて平板型であるのにかかわらず，「が」の付いたアクセントは，○○○▷と○○○▷とが，ほぼ半々となっている。中高型・頭高型を示す語に「が」の付いたアクセントは，性別・年層によるゆれが大きい。まず第三類の中高型を示す語を見ていく。老男では○○○▷が9語中8例，○○○▷は「岬が」の1例しかない。老女では，○○○▷が5例見え，○○○▷は「小麦が」の1例しかない。少女では，○○○▷が3例，○○○▷は「二十歳が」のみ，○○○▷は「黄金が，岬が」の2例である。老・少の女性に共通して○○○▷型の顕著であることが注目される。少男では，○○○▷，○○○▷，○○○▷がそれぞれ2例ずつ実現している。次に第五類の中高型を示すものを見ていく。第五類の語は，老男では，いずれも中高型を示し，これに付属語「が」の付いたアクセントは，例外なく○○○▷である。少男では，2語が中高型を示し，「が」が付けば○○○▷となる。このほか頭高型の語の時は○○○▷（6例），平板型の語の時は○○○▷（3例）となる。ところが老女では，「胡瓜」を除いた中高型の11語がすべて○○○▷を示す。そして，「胡瓜が」でも「キューリガ」と実現されている。また，少女でも，中高型の4語は○○○▷となる。頭高型の語は○○○▷（5例）となり，平板型の語は○○○▷（2例）となる。これらのほか，第七類の語で「烏・高さ」のように頭高型をとるものに「が」が付いた時も，老男・少男ではともに○○○▷となるのに対し，老女・少女では○○○▷となる。抬頭後起式のアクセントが，女性に特徴的であることが注目される。ただし，抬頭後起式のアクセントは，当該方言においては，すべて話部形態の上に認められ，語そのものの上には認められない。

以上のことをまとめてみると下図のようになる。○印は，その類の語がほとんど表記の型で実現されることを表す。同じく▷印は，ほぼ半数が実現されることを表し，×印は，実現されないことを表す。

型	「が」を付けた形	類	男		女	
			老	少	老	少
/○○○/	○$\overline{○○}$▷	一・六・七	○	○	○	○
	○$\overline{○○}$▷	二	×	△	△	△
/○○○˥/	○$\overline{○○}$▷	二	○	△	△	△
	○$\overline{○○}$▷	四	○	○	○	○
/○○˥○/	○$\overline{○}$○▷	三・五	○	×	×	×
	○$\overline{○}$○$\overline{▷}$	三・五	×	×	○	○
	$\overline{○}$○○▷	三・五	×	○	×	×
/○˥○○/	$\overline{○}$○○▷	七	○	○	×	×
	$\overline{○}$○○$\overline{▷}$	七	×	×	○	○

ところで，三音節名詞に「が」の付いたアクセントを，東京語や広島市方言と比較してみると，第五類において顕著な差異が見られる。第五類の語は，東京語では頭高型を示し，付属語の付いたものは$\overline{○○}$○▷型となる。一方，広島市方言では，第五類は中高型を示し，これに付属語の付いたものは○$\overline{○○}$▷型となる。当該方言では，第五類はおもに中高型を示し，付属語の付いたものも老男で$\overline{○○}$○▷型，女性層で$\overline{○○}$○$\overline{▷}$型を示す。当該方言と広島市方言との似通いの大きいことがわかる。

（二）動詞アクセント

1. 二音節動詞のアクセント

二音節動詞には，平板型・頭高型の2種しか認められない。「咲く」が「$\overline{サク}$」と実現され，「言う」が「$\overline{ユー}$」と実現されていることが注目される。年層や性別による差も認められない。

2. 三音節動詞のアクセント

三音節動詞には，平板型・中高型・頭高型の3種のアクセントが認められる。「下る」が「$\overline{サガル}$」と実現され，「通る・這入る・参る」がそれぞれ頭高型に実現されていることが注目される。

3. 四音節動詞のアクセント

四音節動詞には，平板型，中高型①○$\overline{○○○}$，中高型②○○$\overline{○○}$の3種が認められる。このうち中高型②は，老男の，第二類Bにのみ実現されている。第二類Bは，老女と少年層では中高型①として実現される。また，第一類Bで，語による若干のゆれが認められる。

（三）形容詞のアクセント

1. 二音節形容詞のアクセント

当該方言の二音節形容詞には，頭高型が認められるだけである。

2. 三音節形容詞のアクセント

三音節形容詞には，平板型と中高型の2種が認められる。（「遠い」が「$\overline{トーイ}$」と実現されるが，この例だけである。）平板型は，老男の第一類にのみ実現されるに過ぎない。全体として頭高型から中高型への移行が進んでいるものと考えられる。

3. 四音節形容詞のアクセント

四音節形容詞には，中高型①○$\overline{○}$○○と中高型②○$\overline{○○○}$の2種が認められる。このうち中高型①

は，おもに老年層に実現される。少年層では，男子にのみ実現され（11例のうち4例），女子には実現されない。東京語の中高型○$\overline{○○○}$に移行しつつあると言えよう。

ここで，御寺方言の語アクセント体系を図示すると下図のようになる。

A．名詞の語アクセント体系

音節	音韻論的解釈	型	類
一	/○/	平板	一・三
	/○1/	頭高	二
二	/○○/	平板	一
	/○○1/	尾高	二・三
	/○1○/	頭高	四・五
三	/○○○/	平板	一・六
	/○○○1/	尾高	二・四
	/○○1○/	中高	三・五
	/○1○○/	頭高	七

B．動詞の語アクセント体系

音節	音韻論的解釈	型	類
二	/○○/	平板	一A・一B
	/○1/	頭高	二A・二B
三	/○○○/	平板	一A・一B
	/○○1○/	中高	二A・二B
	/○1○○/	頭高	三
四	/○○○○/	平板	一A・一B
	/○○○1○/	中高	二A
	/○○「○1○/	中高	二B

C．形容詞の語アクセント体系

音節	音韻論的解釈	型	類
二	/○1○/	頭高	
三	/○○○/	平板	一
	/○○1○/	中高	一・二
四	/○○○1○/	中高	一・二
	/○○1○○/	中高	一・二

ここに見られる通り，御寺方言の語アクセントの型の体系は，東京アクセントとほとんど一致する。御寺方言の語アクセントは，年令や性別による相違がある程度認められ，個人の間でもゆれている面が少なくないが，全体としては中国式アクセントの体系をよく保っているのである。

二　3地点の語アクセントの比較

ここでは，生口島御寺方言と，愛媛県伯方島木ノ浦地区方言，および広島県山県郡旧八幡村方言の語アクセントを比較する。上記の3地点は，同一調査語 451語によって調査がなされている。これらを比較することで，地点ごとの語アクセントの体系比較にとどまらず，型の実際的な内容，語類や語のレベルにまでたち入った細部にわたる比較が可能となる。また，アクセント境界線をはさんで相互に接している伯方島と生口島御寺，および中国式アクセントを代表すると考えられる八幡村との詳細な比較は，御寺方言の語アクセント体系の位置付けに，より正確さを加えるものと考えられる。

なお，以下で取り上げる伯方島アクセントは，『方言研究年報』第11・12巻（昭和45年1月）に示

されたもののうち，木ノ浦地区のものをもって代表させる。また，木ノ浦地区の中でも，少年層男女・老年層女子は各4名，老年層男子は5名の調査がなされているが，個人によって型の違いがある時は，一致度の高いものを取り上げる。たとえば，4者から○▷・○▷・○▷・○▷のような調査結果が得られている場合には，○▷で代表させる。ただし，同数の場合には，その語の属する語類の優勢な型を示しているものを取り上げる。八幡村アクセントは，藤原与一氏著『昭和日本語の方言　第4巻　中国山陽道三要地方言』（昭和52年12月）に示されたものを利用する。このほか，中国系アクセントのものさしとしては，平山輝男氏編『全国アクセント辞典』（昭和35年6月）の全国アクセント比較表(1)の広島市アクセントを取り上げる。四国系アクセントのものさしとして，同じく平山輝男氏著『日本語音調の研究』（昭和32年6月）所載の松山市方言音調語彙を参考にする。

（一）名詞アクセント

1.　一音節名詞のアクセント

一音節名詞では，御寺方言と木ノ浦方言との似通いが指摘される。第二類の語アクセントは，御寺と木ノ浦とでは全例一致する。これに比べ，八幡村では，「名を・葉が・矢を」が○▷型となり，「藻を」が「モオ」（少男では「モオ」）となって，御寺・木ノ浦とはまったく逆になる。そのほかにも八幡村では，老男が，「柄を」「エオ」と実現している。

2.　二音節名詞のアクセント

第一類ではほとんど差異が認められない。第二類では，八幡村で「冬」が「フユ」と実現され，他の2地点の「フユ」と異なる。第三類では，御寺と八幡村が，老男でともに「靴」を「クツ」と実現している。このほか第三類では，少男で3地点ともに，「雲・神・靴・鯛」が頭高型になっていることが注目される。第四類では，少年層で，木ノ浦と八幡村とが一致する例が多い。「糸・鎌・下駄・隅・鑿」がいずれも頭高型となっている。第五類は，八幡村で「露」を「ツユ」としている以外，全例頭高型である。

3.　三音節名詞のアクセント

三音節名詞では，御寺・八幡村に対する木ノ浦の特性が顕著に見てとれる。すなわち，御寺・八幡村において平板型に実現されるものが，木ノ浦では中高型に実現され，明確な対立を示している。たとえば老男において，御寺・八幡村では，第二類で全例平板型を示し，木ノ浦では「夕」が「ユーベ」，「間」が「アイダ」と実現される以外の残る8語が，いずれも中高型である。第四類でも，たとえば老男では，全24語中22語が，木ノ浦でだけ中高型を示している。この傾向は少年層男子においても同様である。ここにおいて，木ノ浦方言の特異性は明らかであろう。

このほか，三音節語名詞では，第五類において，八幡村で頭高型を示すことが目立つ。老男で「胡瓜・錦」，少男で「命・鰈・胡瓜・姿・錦・火箸」などである。第六類でも，八幡村で，頭高型を示す語が認められる。「兎・烏・雀」などがその例である。第七類では，少男で御寺と木ノ浦が共通している。第七類の語，全9語のうち，「後・蚕・兜・鯨」の4語がともに頭高型を示している。以上のほか，第一類で，木ノ浦でのみ，四国系と考えられる高平調が，「氷・舅・隣」の3語に認められるのが注目される。

（二）動詞アクセント

1.　二音節動詞のアクセント

二音節動詞においては，3地点での差異はほとんど見られない。

2.　三音節動詞のアクセント

三音節動詞においても，3地点の差異はほとんど見い出しがたい。御寺・木ノ浦でともに，第一類Aの「記す」を「シルス」(少男)，第一類Bの「欠ける」を「カケル」（老男）と，いずれも中高型

になっているのが注目される。同じく第一類Bのうち，木ノ浦で老女に，「上げる，植える，消える，捨てる，染める，漬ける，腫れる」（14語中）の7語が四国系アクセントの高平調○○○で実現されていることは，注目に値する。

4. 四音節動詞のアクセント

四音節動詞の第一類Aでは，御寺の少男では，「嘲る，憐む，窺う，悲しむ，貧る」の語が中高型○○○○を示し，他地点の平板型に対立している。さて，第一類Bでは，木ノ浦での中高型○○○○が注目される。老男で「唱える」の1語，少男では「唱える，亡びる」の2語に，中高型○○○○が認められる。第二類Aでも同様である。老男では「喜ぶ」の1語，少男では「表わす，偽る，喜ぶ」の3語に認められる。第二類Bでもやはり，木ノ浦での中高型○○○○が注目される。老男で10語のうち8語がこの型を示し，少男でも「諌める」を除いた残り9語がこの型である。このように，木ノ浦では，中高型○○○○がきわ立っている。これに対し，八幡村では老少ともに，全例が中高型○○○○である。御寺では，老男で中高型○○○○，少男で中高型○○○○を示し，年層によってゆれている。

この中高型／○○ㄱ ○○／は，三音節名詞第二・三類の中高型／○○ㄱ ○／とあわせて，木ノ浦方言語アクセントの特色をなすものと言える。

（三）形容詞のアクセント

1. 二音節形容詞のアクセント

「無い」が，2地点とも頭高型である。（八幡村は表記なし。）「良い」は，3地点ともに頭高型「ヨイ」である。

2. 三音節形容詞のアクセント

三音節形容詞では，第二類，それに第一類の老男においては，3地点に差異は見い出しがたい。ところが，第一類の少男では，御寺と木ノ浦が共通している。すなわち，八幡村の平板型○○○に対し，御寺・木ノ浦では，「遠い」を除いた全例が，中高型○○○を取っているのである。

3. 四音節形容詞のアクセント

四音節形容詞においては，老年層と少年層とで，3地点の傾向が異なる。老男では，第一類は，八幡村の中高型○○○○に対し，御寺と木ノ浦が中高型○○○○を示す。同じく老男で，第二類は，八幡村が○○○○であるのに対し，木ノ浦は○○○○である。御寺では，○○○○のものが3語，○○○○のものが3語である。少男では，御寺・八幡村の中高型○○○○に対し，木ノ浦は中高型○○○○である。

三音節形容詞の場合と異なり，ここでは八幡村と御寺が一致している。

ま と め

以上，具体的な個々の語のレベルで，3地点の語アクセントを比較してきた。これによって，御寺方言の語アクセントが，地理的に近い木ノ浦方言とは，一音節名詞や三・四音節形容詞の特定の語類にのみ認められる一致を除いて，一体とならないことが明らかになった。むしろ，木ノ浦の中高型／○○ㄱ ○／・／○○ㄱ ○○／と，八幡村・御寺に共通する平板型／○○○／・中高型／○○○ㄱ ○／との明確な対立が見てとれるのである。

いま，3地点語アクセントの共有度を測るために，調査結果を数的に処理してみる。使用頻度や語彙のかたよりなどの諸条件をいっさい無視して，単純に，御寺方言の語アクセントと一致していれば共有語とする。こうした結果は次表のようになる。老男では，御寺方言と木ノ浦方言とで451語中354語が一致する。一致率は78.5%である。御寺方言と八幡村方言とは449語中403語が一致する。一致率は89.6%となる。

	老男		少男	
	木ノ浦	八幡村	木ノ浦	八幡村
名　詞（255語）	206	236	213	227
動　詞（158語）	138	139	129	145
形容詞（ 48語）	10	38	40	30
計　（451語）	354	403	372	402

御寺方言の語アクセントは，四国系アクセントの影響などによるいくぶんのゆれはあるにしても，八幡村や広島市方言との似通いの強い，中国式アクセントの様相を呈している。この意味で，伯方島と生口島との間にアクセント境界線を引くことは，今日においても，妥当であると言ってよかろう。

資　料　篇

凡　例

1　本表には，広島県豊田郡瀬戸田町御寺方言，愛媛県越智郡伯方町木ノ浦地区方言，広島県山県郡旧八幡村方言の語アクセントを記す。

2　御寺方言の語アクセントは，高音部位に――（太線）を付けて示す。木ノ浦方言については――（細線），八幡村方言については……（破線）で示す。

3　表中，○は自立語の１音節，▷は付属語の１音節であることを示す。

4　御寺方言の語アクセントは，以下のような調査で得られたものである。（木ノ浦方言・八幡村方言については，本稿「二　３地点の語アクセントの比較」参照。）

〔調査時日〕

昭和53年10月13日～14日（２日間）

〔調査語〕

『方言研究年報』第11・12巻に示された 451語で行った。語の配列も『方言研究年報』掲載順序に従った。ただ，今回の調査では，２音節語・３音節語名詞に付属語を付けたものについても試みている。

〔回答者〕

杉野　正幸（スギノ　マサノリ）68歳　男

下川ヨリエ（シモカワ　ヨリエ）65歳　女

金本　佳純（カネモト　ヨシズミ）14歳　男

金本　由香（カネモト　ユカ）14歳　女

このほかに，杉原吾三郎氏（77歳），石原昭子氏（72歳）にも回答していただいた。（年齢が高いため本表には不載）上記の方々に厚くお礼申し上げる。

〔調査法〕

カード読み上げ方式で行った。そのさい，１人の調査が，だいたい30分から35分の間で終わるようにした。回答はすべて録音し，後日，聞き直しをしている。

5　表中，注記をほどこした箇所に＊を付し，最後に補注としてまとめてかかげる。

類別	語例	年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
一音節名詞第一類	1	柄を	○▷	○▷	○▷	○▷
	2	蚊が	○▷	○▷	○▷	○▷
	3	子を	○▷	○▷	○▷	○▷
	4	血が	○▷	○▷	○▷	○▷
	5	戸を	○▷	○▷	○▷	○▷
	6	帆を	○▷	○▷	○▷	○▷
	7	実が	○▷	○▷	○▷	○▷
	8	身を	○▷	○▷	○▷	○▷
一音節名詞第二類	9	名を	○▷	○▷	○▷	○▷
	10	葉が	○▷	○▷	○▷	○▷
	11	日が	○▷	○▷	○▷	○▷
	12	藻を	○▷	○▷	○▷	○▷
	13	矢を	○▷	○▷	○▷	○▷
一音節名	14	絵を	○▷	○▷	○▷	○▷
	15	尾を	○▷	○▷	○▷	○▷
	16	木を	○▷	○▷	○▷	○▷
	17	粉を	○▷	○▷	○▷	○▷
	18	酢を	○▷	○▷	○▷	○▷
	19	田を	○▷	○▷	○▷	○▷
	20	手を	○▷	○▷	○▷	○▷

類別	語例	年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
詞第三類	21	菜を	○▷	○▷	○▷	○▷
	22	荷を	○▷	○▷	○▷	○▷
	23	根が	○▷	○▷	○▷	○▷
	24	野を	○▷	○▷	○▷	○▷
	25	火を	○▷	○▷	○▷	○▷
	26	穂が	○▷	○▷	○▷	○▷
	27	目を	○▷	○▷	○▷	○▷
	28	湯を	○▷	○▷	○▷	○▷
二音	29	飴（が）	○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	30	梅（が）	○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	31	枝（が）	○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	32	顔（が）	○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	33	風（が）	○○	○○ *1	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	34	金（が）	○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷

類別	語例 ＼ 性 ＼ 年層	老 男	老 女	少 男	少 女
節名詞	35 壁（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	36 釜（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	37 此（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	38 酒（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	39 竹（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	40 箱（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	41 鼻（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	42 庭（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	43 桃（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	44 牛（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷

類別	語例 ＼ 性 ＼ 年層	老 男	老 女	少 男	少 女
第一	45 柿（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	46 蟹（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	47 雉（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	48 桐（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	49 霧（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	50 口（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	51 首（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	52 腰（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	53 鳥（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	54 端（が）	○○	○○ ＊2	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷

類別	語例 ＼ 年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
類	55 蜂（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	56 水（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	57 道（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	58 虫（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
二音	59 歌（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	60 音（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	61 型（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	62 川（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	63 鞍（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	64 下（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷

類別	語例 ＼ 年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
節	65 寺（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	66 旗（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	67 人（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	68 胸（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
名詞	69 村（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	70 石（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	71 垣（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	72 紙（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	73 蟬（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	74 旅（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷

類別	語例 ＼ 年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
第二類	75 弦（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	76 夏（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	77 橋（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	78 肘（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	79 昼（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	80 冬（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	81 町（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	82 雪（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	83 泡（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	84 池（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷

類別	語例 ＼ 年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
二音節	85 色（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	86 腕（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	87 馬（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	88 皮（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	89 草（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	90 雲（が）	○○	○○ *3	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	91 倉（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	92 事（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	93 島（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	94 玉（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷

類別	語例	年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
名詞第	95 花（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	96 腹（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	97 山（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	98 足（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	99 犬（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	100 鬼（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	101 貝（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	102 神（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	103 髪（が）		○○	○○ *4	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	104 靴（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷

類別	語例	年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
三類	105 栗（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	106 炭（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	107 鯛（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	108 月（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	109 年（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	110 波（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	111 蚤（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	112 耳（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
二類	113 粟（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	114 糸（が）		○○	○○	○○	○○
			○○▷	○○▷	○○▷	○○▷

類別	語例 ＼ 年層・性	老 男	老 女	少 男	少 女
音節名	115稲(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	116笠(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	117肩(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	118鎌(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷ *5
	119今日(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	120今朝(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	121下駄(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	122空(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	123種(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	124中(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷

類別	語例 ＼ 年層・性	老 男	老 女	少 男	少 女
四拍名詞	125舟(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	126息(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	127臼(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	128海(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	129帯(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	130糟(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	131上(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	132錐(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	133隅(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	134父(が)	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷

類別	語例 ＼ 年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
類	135 鑿（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	136 箸（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	137 針（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	138 松（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	139 麦（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
二音節	140 雨（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	141井戸（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	142 桶（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	143 蔭（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	144蜘蛛（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷

類別	語例 ＼ 年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
名詞第五	145 声（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	146 琴（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	147 鮒（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	148 窓（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	149 箸（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	150 秋（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	151 鮎（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	152 黍（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	153 鯉（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	154 猿（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷

類別	語例 ＼ 年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
類	155 鶴（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	156 露（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	157 春（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
	158 蛇（が）	○○	○○	○○	○○
		○○▷	○○▷	○○▷	○○▷
三音節名詞第	159 間（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	160 小豆（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	161 毛枝（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	162 釣瓶（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	163 蜥蜴（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	164 二つ（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷

類別	語例 ＼ 年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
二類	165 二人（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	166 夕（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
三音節	167 頭（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	168 軍（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	169 鶉（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	170 恨（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	171 扇（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	172 男（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	173 思（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	174 表（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷

類別	語例 ＼ 年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
名詞第四類	175 女（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	176 鏡（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	177 敵（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	178 刀（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	179 言葉（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	180 暦（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	181 堺（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	182 宝（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	183 剣（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	184 袴（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷

類別	語例 ＼ 年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
名詞第四類	185 鋏（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	186 東（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	187 光（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	188 袋（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	189 仏（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	190 蓆（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
三音節名詞	191 黄金（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	192 小麦（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	193 栄螺（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	194 力（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷

類別	語例 ＼ 性 ＼ 年層	老 男	老 女	少 男	少 女
第三類	195二十歳(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	196岬(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
三音節名詞	197朝日(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	198五つ(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	199命(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	200蝶(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	201胡瓜(が)	○○○ *6	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	202心(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	203姿(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	204涙(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷

類別	語例 ＼ 性 ＼ 年層	老 男	老 女	少 男	少 女
第五類	205錦(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	206火箸(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	207眼(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
三音節名詞	208苺(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	209後(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	210蚤(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	211兜(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	212鯨(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	213薬(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	214便(が)	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷

類別	語例 ＼ 年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
第七類	215 盥（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	216 病（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
三音節名詞	217 孰（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	218 兎（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	219 鰻（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	220 烏（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	221 狐（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	222 雀（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	223背中（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	224高さ（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷

類別	語例 ＼ 年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
第六類	225 鼠（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	226雲雀（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	227 誠（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	228 操（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	229 蓬（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
三音	230 茂（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	231 錨（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	232 鰯（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	233 己（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	234 飾（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷

類別	語例 ＼ 年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
節名詞	235 霞（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	236 形（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	237 着物（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	238 巻（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	239 煙（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	240 仔牛（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	241 氷（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	242 小山（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	243 衣（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	244 魚（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷

類別	語例 ＼ 年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
第一類	245 舅（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	246 印（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	247 机（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	248 隣（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	249 初（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	250 鼻血（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	251 庇（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	252 額（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	253 羊（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
	254 都（が）	○○○	○○○	○○○	○○○
		○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷

類別	語例	年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
	255 柳（が）		○○○	○○○	○○○	○○⊙
			○○○▷	○○○▷	○○○▷	○○○▷
二音節動詞第一類A	256 売る		○○	○○	○○	○○
	257 置く		○○	○○	○○	○○
	258 買う		○○	○○	○○	○○
	259 欠く		○○	○○ *7	○○	○○
	260 聞く		○○	○○	○○	○○
	261 咲く		○○	○○	○○	○○
	262 散る		○○	○○	○○	○○
	263 突く		○○	○○	○○	○○
	264 泣く		○○	○○	○○	○○
	265 鳴る		○○	○○	○○	○○
	266 乗る		○○	○○	○○	○○
	267 振る		○○	○○	○○	○○
	268 巻く		○○	○○	○○	○○
	269 焼く		○○	○○	○○	○○
	270 言う		○○	○○	○○	○○
	271 行く		○○	○○	○○	○○
	272 割る		○○	○○	○○	○○
二詞	273 着る		○○	○○	○○	○○

類別	語例	年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
第一節類動B	274 為る		○○	○○	○○	○○
	275 似る		○○	○○	○○	○○
	276 寝る		○○	○○	○○	○○
二音節動詞第二類A	277 合う		○○	○○	○○	○○
	278 打つ		○○	○○	○○	○○
	279 飼う		○○	○○	○○	○○
	280 書く		○○	○○	○○	○○
	281 掻く		○○	○○	○○	○○
	282 切る		○○	○○	○○	○○
	283 食う		○○	○○	○○	○○
	284 裂く		○○	○○	○○	○○
	285 磨る		○○	○○	○○	○○
	286 立つ		○○	○○	○○	○○
	287 附く		○○	○○	○○	○○
	288 取る		○○	○○	○○	○○
	289 成る		○○	○○	○○	○○
	290 飲む		○○	○○	○○	○○
	291 吹く		○○	○○	○○	○○
	292 降る		○○	○○	○○	○○
	293 蒔く		○○	○○	○○	○○

類別	語例	老 男	老 女	少 男	少 女
	294 読む	○○	○○	○○	○○
第二類 二音節動詞B	295 来る	○○	○○	○○	○○
	296 出る	○○	○○	○○	○○
	297 見る	○○	○○	○○	○○
形容詞 二音節	374 無い *8	○○	○○	○○	○○
	375 良い	○○	○○	○○	○○
三音節動詞第	298 上る	○○○	○○○	○○○	○○○
	299 遊ぶ	○○○	○○○	○○○	○○○
	300 当る	○○○	○○○	○○○	○○○
	301 洗う	○○○	○○○	○○○	○○○
	302 歌う	○○○	○○○	○○○	○○○
	303 踊る	○○○	○○○	○○○	○○○
	304 飾る	○○○	○○○	○○○	○○○
	305 語る	○○○	○○○	○○○	○○○
	306 通う	○○○	○○○	○○○	○○○
	307 変る	○○○	○○○	○○○	○○○
	308 刻む	○○○	○○○	○○○	○○○
	309 殺す	○○○	○○○	○○○	○○○
	310 探す	○○○	○○○	○○○	○○○
	311 記す	○○○	○○○	○○○	○○○

類別	語例	老 男	老 女	少 男	少 女
一類A	312 進む	○○○	○○○	○○○	○○○
	313 畳む	○○○	○○○	○○○	○○○
	314 違う	○○○	○○○	○○○	○○○
	315 並ぶ	○○○	○○○	○○○	○○○
	316 登る	○○○	○○○	○○○	○○○
	317 運ぶ	○○○	○○○	○○○	○○○
	318 拾う	○○○	○○○	○○○	○○○
	319 渡る	○○○	○○○	○○○	○○○
三音節動詞第一類B	320 開ける	○○○	○○○	○○○	○○○
	321 上げる	○○○	○○○	○○○	○○○
	322 植える	○○○	○○○	○○○	○○○
	323 欠ける	○○○	○○○	○○○	○○○
	324 借りる	○○○	○○○	○○○	○○○
	325 消える	○○○	○○○	○○○	○○○
	326 捨てる	○○○	○○○	○○○	○○○
	327 染める	○○○	○○○	○○○	○○○
	328 漬ける	○○○	○○○	○○○	○○○
	329 腫れる	○○○	○○○	○○○	○○○
	330 負ける	○○○	○○○	○○○	○○○
	331 曲げる	○○○	○○○	○○○	○○○

類別	語例 ＼ 性 ＼ 年層	老 男	老 女	少 男	少 女
	332焼ける	○○○	○○○	○○○	○○○
	333割れる	○○○	○○○	○○○	○○○
三音節動詞第二類A	334 余る	○○○	○○○	○○○	○○○
	335 痛む	○○○	○○○	○○○	○○○
	336 祈る	○○○	○○○	○○○	○○○
	337 動く	○○○	○○○	○○○	○○○
	338 移る	○○○ *9	○○○	○○○	○○○
	339 恨む	○○○	○○○	○○○	○○○
	340 起す	○○○	○○○	○○○	○○○
	341 落す	○○○	○○○	○○○	○○○
	342 思う	○○○	○○○	○○○	○○○
	343 帰る	○○○	○○○	○○○	○○○
	345 崩す	○○○	○○○ *10	○○○	○○○
	346 曇る	○○○	○○○	○○○	○○○
	347 下る	○○○	○○○	○○○	○○○
	348 照す	○○○	○○○	○○○	○○○
	349 頼む	○○○	○○○	○○○	○○○
	350 作る	○○○	○○○	○○○	○○○
	351 通る	○○○	○○○	○○○	○○○
	352 習う	○○○	○○○	○○○	○○○

類別	語例 ＼ 性 ＼ 年層	老 男	老 女	少 男	少 女
	353 光る	○○○	○○○	○○○	○○○
	354 守る	○○○	○○○	○○○	○○○
	355 分る	○○○	○○○	○○○	○○○
三音節動詞第二類B	356生きる	○○○	○○○	○○○	○○○
	357起きる	○○○	○○○	○○○	○○○
	358落ちる	○○○	○○○	○○○	○○○
	359覚める	○○○	○○○	○○○	○○○
	360過ぎる	○○○	○○○	○○○	○○○
	361建てる	○○○	○○○	○○○	○○○
	362附ける	○○○	○○○	○○○	○○○
	363溶ける	○○○	○○○	○○○	○○○
	364投げる	○○○	○○○	○○○	○○○
	365逃げる	○○○	○○○	○○○	○○○
	366延びる	○○○	○○○	○○○	○○○
	367晴れる	○○○	○○○	○○○	○○○
	368見える	○○○	○○○	○○○	○○○
	369分ける	○○○	○○○	○○○	○○○
三音節動詞第三類	370 歩く	○○○	○○○	○○○	○○○
	371 隠す	○○○	○○○	○○○	○○○
	372這入る	○○○	○○○	○○○	○○○

類別	語例	年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
	373	参る	○○○	○○○	○○○	○○○
三音節形容詞第一類	376	赤い *11	○○○	○○○	○○○	○○○
	377	浅い	○○○	○○○	○○○	○○○
	378	厚い	○○○	○○○	○○○	○○○
	379	甘い	○○○	○○○	○○○	○○○
	380	荒い	○○○	○○○	○○○	○○○
	387	薄い	○○○	○○○	○○○	○○○
	382	遅い	○○○	○○○	○○○	○○○
	383	重い	○○○	○○○	○○○	○○○
	384	堅い	○○○	○○○	○○○	○○○
	385	軽い	○○○	○○○	○○○	○○○
	386	暗い	○○○	○○○	○○○	○○○
	387	遠い	○○○	○○○	○○○	○○○
	388	丸い	○○○	○○○ *12	○○○	○○○
三音節	389	青い	○○○	○○○	○○○	○○○
	390	暑い	○○○	○○○	○○○	○○○
	391	辛い	○○○	○○○	○○○	○○○
	392	清い	○○○	○○○	○○○	○○○
	393	黒い	○○○	○○○	○○○	○○○
	394	寒い	○○○	○○○	○○○	○○○

類別	語例	年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
形容詞第二類	395	白い	○○○	○○○	○○○	○○○
	396	狭い	○○○	○○○	○○○	○○○
	397	高い	○○○	○○○	○○○	○○○
	398	近い	○○○	○○○	○○○	○○○
	399	強い	○○○	○○○	○○○	○○○
	400	長い	○○○	○○○	○○○	○○○
	401	早い	○○○	○○○	○○○	○○○
	402	低い	○○○	○○○	○○○	○○○
	403	広い	○○○	○○○	○○○	○○○
	404	深い	○○○	○○○	○○○	○○○
	405	太い	○○○	○○○	○○○	○○○
	406	古い	○○○	○○○	○○○	○○○
	407	細い	○○○	○○○ *13	○○○	○○○
	408	安い	○○○	○○○	○○○	○○○
	409	若い *14	○○○	○○○	○○○	○○○
	410	悪い	○○○	○○○	○○○	○○○
四音節動詞	411	嘲る	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	412	憐む	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	413	窺う	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	414	悲しむ	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○

類別	語例 ＼ 年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
第一類A	415 従う	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	416 疑う	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	417 養う	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	418 貸る	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
四音節動詞第二類A	419 集まる	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	420 怪しむ	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	421 表わす	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	422 偽る	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	423 驚く *15	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	424 喜ぶ	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
四音節動詞第一類B	425 与える	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	426 重ねる	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	427 唱える	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	428 並べる	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	429 始める	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	430 亡びる	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
四音節	431 集める	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	432 諫める	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	433 数える	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	434 答える	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○

類別	語例 ＼ 年層 / 性	老 男	老 女	少 男	少 女
動詞第二類B	435 調べる	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	436 流れる	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	437 助ける	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	438 離れる	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	439 隔てる	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	440 隠れる	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
四音節形容詞第一類	441 危うい	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	442 尊い	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	443 空しい	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	444 宜しい	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
四音節形容詞第二類	445 卑しい	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	446 詳しい	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	447 親しい	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	448 涼しい	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	449 正しい	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	450 久しい	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
	451 等しい	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○

（注）

1　「カデ」となる。
2　「トリーガ」となる。
3　「クモ」を言い直し。
4　言い直し。
5　たとえば，○カタガ　イタイ。（肩が痛い。）と使う。
6　「キウリ」としか言わない。
7　「カグ」と言う。
8　八幡村のアクセントは無表記となっている。
9　「イゴク」とのこと。
10　「イヌル」と言う。
11　「アカー」と言う。
12　「下ーエー」と言う。
13　「コマイ」と言う。
14　八幡村のアクセントは無表記となっている。
15　老男で「タマゲタ」と言うとのこと。

〔付記〕

今回の調査に際しては，室山敏昭先生に懇切なる御助言を賜った。また，稿を成すにあたっても，多くの御教示をいただいた。記して厚く御礼申し上げる。

—1979. 1.20　稿—